

## 汽水域国際シンポジウム2007

### 汽水域の再生とその持続可能性 －宍道湖・中海の賢明な利用にむけて－

International Symposium on the Restoration and Sustainability  
of Estuaries and Coastal Lagoons  
- Towards the Wise Use of Lakes Shinji and Nakaumi -

January 26-28, 2007 Matsue, JAPAN

#### 開催主旨：

40年に及ぶ干拓・淡水化事業が中止となった宍道湖・中海では、劣化した湖沼生態系の再生が急務となっています。集水域の水環境は徐々に改善され、沿岸帯の修復も開始されています。さらに、2005年秋には両湖ともにラムサール条約の登録湿地となり、美しく豊かな汽水環境を後世に引き継ぐための新たな展開が期待されています。

今回のシンポジウムでは、インド、タイ、ニュージーランドから研究者をお招きし、チリカ湖、ソクラー湖、パウアハタヌイ河口域での再生に関する事例をお聞きするとともに、宍道湖・中海の保全・再生を目指している島根・鳥取両県の地域の方々やNPO、企業、行政の方々にそれぞれの活動について報告していただき、さらに島根大学で進めている重点プロジェクト「汽水域の自然・環境再生研究拠点形成プロジェクト」の研究結果の発表を行います。

宍道湖・中海の保全・再生と賢明な利用のための活動や調査を進めている様々な主体が一堂に会するこのシンポジウムをきっかけに、宍道湖・中海の保全・再生と賢明な利用のための協働が進み、島根・鳥取両県の一層の連携が深まることを期待します。

#### 日程：

2007年1月26日（金）宍道湖・中海バス見学（参加については別途募集します）

2007年1月27日（土）公開シンポジウム（同時通訳付）

研究発表・事例報告（ポスター発表）、企業展示

2007年1月28日（日）公開シンポジウム

研究発表・事例報告（ポスター発表）、企業展示

会場：くにびきメッセ国際会議場（松江市）

参加費（資料代）：1,000円（当日申し受けます）